



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 トーイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7923 URL <https://www.toin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 春 公明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画統括 (氏名) 坂戸 正朗

TEL 04-7131-2111

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	11,245	4.9	5	74.8	72		118	56.4
2020年3月期	11,819	4.5	23	92.9	11	96.8	75	71.1

(注) 包括利益 2021年3月期 324百万円 ( %) 2020年3月期 269百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	23.56		1.3	0.4	0.1
2020年3月期	15.06		0.8	0.1	0.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 57百万円 2020年3月期 2百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	18,099	9,274	51.0	1,833.96
2020年3月期	17,891	9,012	50.1	1,780.64

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,230百万円 2020年3月期 8,962百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	829	770	41	2,254
2020年3月期	742	1,020	256	2,256

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		5.00		7.50	12.50	62	83.0	0.7
2021年3月期		5.00		5.00	10.00	50	42.4	0.6
2022年3月期(予想)		5.00		10.00	15.00		755.0	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	3.2	100		60		10	91.6	1.99

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	6,377,500 株	2020年3月期	6,377,500 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,344,253 株	2020年3月期	1,344,253 株
期中平均株式数	2021年3月期	5,033,247 株	2020年3月期	5,033,247 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	10,559	4.2	33		32		146	661.0
2020年3月期	11,018	5.4	55		43		19	92.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	29.09	
2020年3月期	3.82	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	18,142	9,496	52.3	1,886.69
2020年3月期	17,825	9,272	52.0	1,842.29

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,496百万円 2020年3月期 9,272百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、輸出が大幅に落ち込んだことや訪日外客数がほぼゼロになるなどで幅広い業種で企業業績が悪化いたしました。半導体関連などの一部の業種に改善の傾向が見られるものの、感染症収束の見通しが立たないことで景気は不透明な状況で推移いたしました。

包装資材業界においては、インバウンド需要の消失、二度にわたる緊急事態宣言発令にともなう外出及び営業自粛の要請や宣言解除後においても感染を懸念しての外出自粛等の継続、経済活動の低迷による雇用・所得環境の悪化などで個人消費が萎縮するなど厳しい状況で推移いたしました。

当社グループは、このような状況のもと、お客様に当社製品を安定的に供給すべく、その最優先課題として従業員及びその家族の新型コロナウイルス感染防止対策に取り組むとともに、業容の維持・拡大を目指し、新規分野の開拓、差別化された商品・技術の開発などで競争優位性の確保に注力いたしました。

包装資材事業においては、営業活動が、訪問型営業からリモート営業主体へと大きく変化する中、引き続き当社加飾技術や環境対応資材を中心とした企画提案型の営業活動を継続的に実施いたしました。その結果、国内の売上は、食品分野の一部及び医薬品分野において前連結会計年度比で増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要の消失や消費者の消費行動の変化などで化粧品分野が大幅に減少しました。また、ベトナム現地法人(TOIN VIETNAM CO., LTD.)及びタイ現地法人(TOIN (THAILAND) CO., LTD.)の売上も新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、前連結会計年度比で減少し、売上高は10,146百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

精密塗工事業は、需要が増加傾向にあった半導体関連部材が、第2四半期以降は米中ハイテク冷戦による需要先の生産調整の影響を受けましたが、売上高は696百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

その他事業は、受託包装において、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規受注品の生産時期のずれ込みや化粧品分野の企画品や定期品の受注が減少したことなどで、売上高は402百万円(前年同期比26.0%減)となりました。

この結果、グループ全体の売上高は11,245百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

利益面については、包装資材事業は、売上高は前連結会計年度比で減少しましたが、主に国内において、引続き高効率機械の安定稼働、生産管理体制の強化、品質管理・予防保全策の再徹底などの施策を推進したことで生産効率が向上したことなどによりわずかながら増益となりました。

精密塗工事業は、多能工育成による効率化、フレキシブルな生産体制の構築、製造コスト管理の徹底などの諸施策を推進したことなどにより増益となりました。

その他事業は、受託包装において、柔軟性のある生産体制の編成などで採算性の確保に努めましたが、売上高が大幅に減少したことなどで減益となりました。

この結果、当連結会計年度の営業利益は5百万円(前年同期比74.8%減)、経常損益は持分法投資損失の計上などにより経常損失72百万円(前年同期は11百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純利益は投資有価証券売却益の計上などにより118百万円(前年同期比56.4%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産は18,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が155百万円、投資有価証券が65百万円増加したことによるものであります。

負債は8,825百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税が57百万円、流動負債のその他が設備関係未払金の増加などにより100百万円、繰延税金負債が59百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金が207百万円、退職給付債務に係る負債が119百万円減少したことによるものであります。

純資産は9,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ261百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が55百万円、その他有価証券評価差額金が139万円、退職給付に係る調整累計額が134百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、2,254百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、829百万円の収入(前年同期比11.7%増)となりました。これは主に、減価償却費885百万円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、770百万円の支出(前年同期比24.5%減)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入351百万円がありました。有形固定資産の取得による支出983百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、41百万円の支出(前年同期比83.9%減)となりました。これは主に、配当金の支払額62百万円があったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しについては、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の国内外での流行の長期化が予想され、インバウンド需要の回復は見込めず、また、渡航・外出の抑制や雇用・所得環境の悪化などによる個人消費の低迷などから主に非製造業を中心とした企業業績の不振が続くことなどで景気回復には時間を要すると予想されます。また、米中貿易摩擦が長引くなど厳しく不透明な経済状況が続くことが予測されます。

包装資材事業をめぐる情勢については、新型コロナウイルス感染症の収束には今しばらくの時間を要することや雇用環境の悪化、少子高齢化の進行による将来不安などにより、個人消費の低迷は長期化すると予想されるなど非常に厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、経営管理体制及び業務執行体制の強化を図り、厳しい経営環境に迅速に対応するとともに、引き続きお客様に当社製品を安定的に供給するために新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続することや、業容の維持・拡大を目指し、新規分野の開拓、環境や衛生面に配慮した材料・製品の企画提案、差別化された商品・技術の開発などで競争優位性の確保・拡大に注力してまいります。また、SDGsへの取り組みを推進するとともに次世代を担う幹部・管理職・従業員育成のための取り組みをさらに充実させてまいります。

包装資材事業については、まず営業面で、引き続き当社デザイン・加飾技術力のアピールや企画提案型の営業活動を継続的かつ、きめ細かに実施し、化粧品分野の受注回復さらに拡大、医薬品・食品・日用品分野の既存客先からの受注拡大と新規客先の開拓、ラベル部門での新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。また、ベトナム現地法人(TOIN VIETNAM CO., LTD.)及びタイ現地法人(TOIN (THAILAND) CO., LTD.)は、既存客先からの増注を図るとともに、さらなる当社グループの連携強化と協力会社ネットワーク拡大を推進し東南アジア全域の日系企業、外資系企業並びにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。

生産面においては、内作生産能力増強を目的として拡張した柏第三工場のアフターコロナを見据えた効率的な工場運営の確立、省人化・省力化・省エネルギー化の一層の推進、品質管理体制の一層の強化、DX推進による業務プロセスの改革と品質・生産性向上の検討、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進するとともに、ベトナム現地法人(TOIN VIETNAM CO., LTD.)は、品質保証体制の再構築、新技術の習得、最適な材料調達ルート確立のための諸施策の実行と内部管理体制の一層の改善・強化を図り、収益基盤の安定化に努めてまいります。

精密塗工事業については、新たな商品開発での事業範囲の拡大を推進することなどで新規分野・新規客先の需要先の開拓に注力するとともに、生産面では、生産体制の整備を図り、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上による事業の安定化を目指してまいります。

その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫性をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、定期的な商品の受注拡大に注力するとともに、生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、省人化・省力化・機械化の推進、外注網の整備等で生産力の向上を図るとともにHACCP取得により品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

2022年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高11,600百万円、営業利益100百万円、経常利益60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,265,031	2,262,632
受取手形及び売掛金	2,474,234	2,533,796
電子記録債権	1,256,551	1,144,201
商品及び製品	454,515	512,311
仕掛品	535,896	413,617
原材料及び貯蔵品	212,563	219,151
その他	149,823	234,629
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	7,347,616	7,319,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,131,555	5,743,534
減価償却累計額	△3,574,978	△3,693,511
建物及び構築物(純額)	1,556,576	2,050,023
機械装置及び運搬具	14,239,987	14,389,515
減価償却累計額	△10,766,880	△11,351,492
機械装置及び運搬具(純額)	3,473,107	3,038,023
土地	2,502,499	2,502,499
リース資産	42,291	29,696
減価償却累計額	△34,163	△24,622
リース資産(純額)	8,127	5,074
建設仮勘定	19,889	97,571
その他	368,922	400,217
減価償却累計額	△310,923	△319,670
その他(純額)	57,998	80,547
有形固定資産合計	7,618,198	7,773,739
無形固定資産	29,409	16,548
投資その他の資産		
投資有価証券	2,404,869	2,470,388
その他	494,747	522,789
貸倒引当金	△3,050	△3,050
投資その他の資産合計	2,896,567	2,990,127
固定資産合計	10,544,175	10,780,415
資産合計	17,891,791	18,099,756

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,273,891	1,066,475
電子記録債務	1,497,936	1,506,862
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,020,000	1,070,300
リース債務	7,582	2,449
未払法人税等	25,181	83,022
未払消費税等	60,286	85,765
賞与引当金	116,000	106,000
その他	738,419	838,640
流動負債合計	5,089,296	5,109,514
固定負債		
長期借入金	2,670,000	2,649,700
リース債務	1,196	2,934
繰延税金負債	512,447	571,855
退職給付に係る負債	382,542	262,690
役員退職慰労引当金	208,164	228,391
その他	15,478	104
固定負債合計	3,789,829	3,715,676
負債合計	8,879,125	8,825,190
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,244,500	2,244,500
資本剰余金	2,901,824	2,901,824
利益剰余金	3,664,810	3,720,481
自己株式	△711,990	△711,990
株主資本合計	8,099,144	8,154,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,007,767	1,147,487
繰延ヘッジ損益	△332	△72
為替換算調整勘定	98,555	37,051
退職給付に係る調整累計額	△242,747	△108,486
その他の包括利益累計額合計	863,242	1,075,980
非支配株主持分	50,278	43,769
純資産合計	9,012,665	9,274,565
負債純資産合計	17,891,791	18,099,756



（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）	当連結会計年度 （自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）
売上高	11,819,494	11,245,334
売上原価	9,877,142	9,445,228
売上総利益	1,942,352	1,800,106
販売費及び一般管理費	1,918,624	1,794,117
営業利益	23,727	5,988
営業外収益		
受取利息	6,447	6,042
受取配当金	42,983	36,163
持分法による投資利益	2,231	-
その他	6,241	6,497
営業外収益合計	57,904	48,703
営業外費用		
支払利息	54,470	51,905
為替差損	15,648	17,930
持分法による投資損失	-	57,448
その他	125	159
営業外費用合計	70,245	127,444
経常利益又は経常損失（△）	11,387	△72,752
特別利益		
固定資産売却益	186	387
投資有価証券売却益	106,552	268,224
特別利益合計	106,738	268,612
特別損失		
固定資産売却損	165	-
固定資産除却損	7,334	4,527
役員退職慰労金	-	2,035
特別損失合計	7,499	6,563
税金等調整前当期純利益	110,625	189,296
法人税、住民税及び事業税	38,358	84,133
法人税等調整額	△1,305	△9,552
法人税等合計	37,052	74,580
当期純利益	73,572	114,716
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	△2,249	△3,869
親会社株主に帰属する当期純利益	75,822	118,586

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	73,572	114,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△328,719	139,720
繰延ヘッジ損益	463	259
為替換算調整勘定	15,448	△51,278
退職給付に係る調整額	△45,311	134,260
持分法適用会社に対する持分相当額	14,916	△12,863
その他の包括利益合計	△343,202	210,099
包括利益	△269,629	324,815
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△270,579	331,324
非支配株主に係る包括利益	950	△6,508

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,244,500	2,901,824	3,677,069	△711,990	8,111,404
当期変動額					
剰余金の配当			△88,081		△88,081
親会社株主に帰属する 当期純利益			75,822		75,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△12,259	-	△12,259
当期末残高	2,244,500	2,901,824	3,664,810	△711,990	8,099,144

	その他の包括利益累計額					非支配株 主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	1,336,486	△796	71,389	△197,435	1,209,644	49,499	9,370,547
当期変動額							
剰余金の配当							△88,081
親会社株主に帰属する 当期純利益							75,822
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△328,719	463	27,165	△45,311	△346,401	778	△345,622
当期変動額合計	△328,719	463	27,165	△45,311	△346,401	778	△357,882
当期末残高	1,007,767	△332	98,555	△242,747	863,242	50,278	9,012,665

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,244,500	2,901,824	3,664,810	△711,990	8,099,144
当期変動額					
剰余金の配当			△62,915		△62,915
親会社株主に帰属する 当期純利益			118,586		118,586
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	55,670	-	55,670
当期末残高	2,244,500	2,901,824	3,720,481	△711,990	8,154,815

	その他の包括利益累計額					非支配株 主持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算調 整勘定	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	1,007,767	△332	98,555	△242,747	863,242	50,278	9,012,665
当期変動額							
剰余金の配当							△62,915
親会社株主に帰属する 当期純利益							118,586
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	139,720	259	△61,503	134,260	212,737	△6,508	206,229
当期変動額合計	139,720	259	△61,503	134,260	212,737	△6,508	261,900
当期末残高	1,147,487	△72	37,051	△108,486	1,075,980	43,769	9,274,565

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	110,625	189,296
減価償却費	902,484	885,720
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20,539	20,226
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	52,148	△119,851
受取利息及び受取配当金	△49,431	△42,205
支払利息	54,470	51,905
持分法による投資損益(△は益)	△2,231	57,448
投資有価証券売却損益(△は益)	△106,552	△268,224
売上債権の増減額(△は増加)	221,574	△1,995
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,381	52,356
仕入債務の増減額(△は減少)	△242,936	△194,421
その他	△79,621	204,500
小計	842,689	834,757
利息及び配当金の受取額	57,026	42,260
利息の支払額	△54,502	△51,491
法人税等の支払額	△108,813	△27,080
法人税等の還付額	-	28,390
その他	5,968	2,376
営業活動によるキャッシュ・フロー	742,368	829,213
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,133,694	△983,255
投資有価証券の取得による支出	△8,581	△9,897
投資有価証券の売却による収入	140,839	351,021
長期前払費用の取得による支出	△1,554	△92,413
その他	△17,233	△36,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,020,225	△770,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△19,584	△8,284
長期借入れによる収入	700,000	1,050,000
長期借入金の返済による支出	△849,000	△1,020,000
配当金の支払額	△87,768	△62,955
その他	△171	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,524	△41,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,840	△19,300
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△523,540	△1,991
現金及び現金同等物の期首残高	2,779,571	2,256,031
現金及び現金同等物の期末残高	2,256,031	2,254,039

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「持分法による投資損益(△は益)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△81,852千円は、「持分法による投資損益(△は益)」△2,231千円、「その他」△79,621千円として組み替えております。

前連結会計年度において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「長期前払費用の取得による支出」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△18,788千円は、「長期前払費用の取得による支出」△1,554千円、「その他」△17,233千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品の区分別のセグメントから構成されており、「包装資材事業」、「精密塗工事業」の2つを報告セグメントとしております。

「包装資材事業」は、紙器、樹脂パッケージ、ラベル、説明書等を製造販売しております。「精密塗工事業」は、電子部材・記録媒体・建材等の精密塗工製品の製造を受託しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業損益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	包装資材	精密塗工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,592,188	683,070	11,275,259	544,235	11,819,494	—	11,819,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,592,188	683,070	11,275,259	544,235	11,819,494	—	11,819,494
セグメント利益	482,248	124,926	607,175	105,848	713,023	△689,295	23,727
セグメント資産	11,338,607	379,596	11,718,203	689,747	12,407,951	5,483,839	17,891,791
その他の項目							
減価償却費	792,533	62,759	855,293	22,353	877,647	24,836	902,484
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	871,596	16,958	888,554	—	888,554	29,671	918,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セットを受託するほか、販促品等の商品を販売しております。

2. 調整額は以下の通りであります。

(1)セグメント利益の調整額△689,295千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額5,483,839千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産であります。

(3)減価償却費の調整額24,836千円は、各報告セグメントに配分していない減価償却費であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額29,671千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額 (注)3
	包装資材	精密塗工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,146,188	696,381	10,842,569	402,765	11,245,334	-	11,245,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,146,188	696,381	10,842,569	402,765	11,245,334	-	11,245,334
セグメント利益	489,619	143,588	633,207	60,523	693,731	△687,742	5,988
セグメント資産	11,498,430	342,271	11,840,702	665,073	12,505,775	5,593,980	18,099,756
その他の項目							
減価償却費	784,821	54,769	839,590	20,314	859,905	25,815	885,720
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,024,093	12,680	1,036,773	29,518	1,066,291	9,042	1,075,334

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品・化粧品・医薬部外品等の加工・セットを受託するほか、販促品等の商品を販売しております。
2. 調整額は以下の通りであります。
- (1)セグメント利益の調整額△687,742千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- (2)セグメント資産の調整額5,593,980千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び管理部門に係る資産であります。
- (3)減価償却費の調整額25,815千円は、各報告セグメントに配分していない減価償却費であります。
- (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9,042千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産	1,780.64円	1,833.96円
1株当たり当期純利益	15.06円	23.56円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	75,822	118,586
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	75,822	118,586
期中平均株式数(株)	5,033,247	5,033,247

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。